

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 2 月 24 日 (2005.2.24)

【公開番号】特開 2000-112130 (P2000-112130A)

【公開日】平成 12 年 4 月 21 日 (2000.4.21)

【出願番号】特願 平 10-280030

【国際特許分類第 7 版】

G 0 3 F 7/039

G 0 3 F 7/004

H 0 1 L 21/027

【F I】

G 0 3 F 7/039 6 0 1

G 0 3 F 7/004 5 0 1

H 0 1 L 21/30 5 0 2 R

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 3 月 24 日 (2004.3.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(A) 環状脂肪族炭化水素骨格を有し、酸の作用により分解しアルカリ可溶性となる重合体、

(B) 下記一般式 (I) で表される化合物、

(C) 活性光線の照射により酸を発生する化合物、

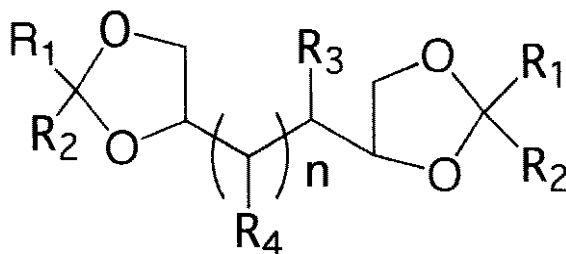
(D) 含窒素塩基性化合物、

(E) フッ素系及び / またはシリコシ系界面活性剤、並びに

(F) 溶剤を含有することを特徴とするポジ型感光性樹脂組成物。

【化 1】

一般式 (I)



(一般式 (I) において、 R_1 、 R_2 は各々独立にアルキル基を表し、また、 R_1 と R_2 とが互いに結合して、炭素原子とともに環構造を形成していてもよい。 R_3 、 R_4 は、各々独立に、水素原子又は水酸基を表す。 n は繰り返し数であって、1 から 5 の整数を表す。)

【請求項 2】

活性光線として、220 nm 以下の波長の遠紫外光を使用することを特徴とする請求項 1 に記載のポジ型感光性樹脂組成物。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載のポジ型感光性樹脂組成物により膜を形成し、当該膜を露光、現像することを特徴とするパターン形成方法。